

# 横浜市 令和4年度予算案説明会

3月7日（月）、横浜地域連合と連合神奈川は、横浜市庁31階レセプションルーム会議室において「令和4年度横浜市予算案説明会」を開催し、横浜市から予算案の説明を受け、意見交換を行いました。

予算案説明会冒頭、山中横浜市長は「長引くコロナ禍において、市民の皆様命と暮らしを守り抜く、また厳しい財政状況にあっても横浜の今と未来をしっかりと見据えて持続可能な市政の転換をしていく、その決意で一般会計1兆9,749億円となる予算案を今回編成した。喫緊の課題であるコロナ対策に関しては4年度においてもワクチン接種をはじめ、切れ目なく感染症対策を実施していく。また去年は横浜で戦後初の人口減少の年となった。子育て世代の転入、出生率の向上につなげていくために子育ての支援、教育にも重点を置いた。誰もが自分らしさを発揮していきいきと安心して暮らせる街、その実現に向けて連合神奈川、横浜地域連合の皆様と共に働く方々の幸せのために必要な施策、これを見極めて着実に推進していきたい。」と挨拶しました。



挨拶をする山中市長



挨拶をする高橋議長

高橋議長からの挨拶では、「日頃より私たちの活動にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。今回の予算案は、市長が就任した後横浜市をしっかりと把握し、いろいろな課題がある中で感染症対策の強化、経済の回復を最優先とした上で、私たちの政策・制度要求と提言に対する予算措置も勘案していただいたと認識している。関東版住みたい街ランキング1位が横浜ということだが、私たちも誇らしく思っている。

その横浜がますます発展していくよう、市長をはじめとする行政の方々と、我々連合がさらに力を合わせていければと考えている。」と述べました。

引き続き行われた意見交換では、横浜地域連合・秋山議長代行より「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」に関して「保育・幼児教育の充実」について質問を行い、回答を受けました。